

青森の“宝”青森市出身・ゆかりの選手たちが躍動!!

今夏のパリオリンピックで、近代五種男子の佐藤大宗選手(青森市出身)が銀メダル、バドミントン女子ダブルスの志田千陽選手(青森山田中学・高等学校卒業)が銅メダルを獲得。アーチェリー男子団体では、古川高晴さん(青森市出身)が8位入賞し、10月末で競技から引退しました。3名の活躍に対し、佐藤選手と志田選手に「青森市民栄誉賞」、古川さんに「青森市スポーツ栄誉賞」を授与し、市内で授与式を開催しました。今回、3名から市民の皆さんへのコメントをいただきました。

■青森市民栄誉賞:総務課(☎017-734-5042)、青森市スポーツ栄誉賞:地域スポーツ課(☎017-718-1428)





市民栄誉賞
近代五種男子 銀メダル
佐藤 大宗 選手
〈青森市出身〉

近代五種普及と青森の盛り上げを

青森山田中学・高等学校で6年間、水泳部に所属し、水泳を生かした仕事をしたいと考えて海上自衛隊に入り、指導者に誘われて近代五種を始めました。最初の頃は試合で負けるたびに、コーチに「もうやりたくない」「やめます」と言ったりしていましたが、見捨てずに励まし、教え続けてくれたコーチ陣のおかげで、次第に強くなり、自信もつきました。父親が小さな頃からよく言っていた「死ぬ気でやれ」という言葉にも励まされました。

銀メダル獲得は、近代五種普及のチャンスで、故郷・青森を盛り上げたいとも思っているので、そうした活動に力を入れていきます。一日一日を大切に練習し、五輪でのけがが治ったら大会での優勝を目指していきます。

市民栄誉賞受賞で青森に戻り、「青森にメダルを取ってきてくれてありがとう」などと温かい声を受けてもらいました。青森の一番好きな食べ物・煮干しラーメンは毎日1杯食べ、どの店もおいしかったです。

青森ねぶた祭に呼んでもらえたら、銀メダルを皆さんにお見せし、応援への感謝の気持ちを伝えます。子どもたちには、何をやるにしても失敗を恐れず、チャレンジしてほしいですね。これからも近代五種と佐藤大宗をよろしくお願いします。

青森市民栄誉賞授与式



新城小の後輩たちが花束を贈呈(9/20 新城小学校)

元気を与えられるプレーをしたい

バドミントン競技は、小学生のときに姉が始めると同時に私も始めました。社会人になって、同じ再春館製菓所に所属している松山奈未選手とペアを組み始めたときの目標設定が、オリンピックでした。先輩たちがオリンピックで戦っている姿を見て、憧れました。

くじけそうになったときに立ち直るために、「何とかなるし、何とかする。苦しいことも、悲しいことも、全部なるべくしてなっていて、でも何とかなるし、自分次第でいい方にも悪い方にもいく」。オリンピック出場権獲得がかかったレースを通してこう思いました。

パリオリンピック後の目標は、今は12月にあるツアーファイナル(BWFワールドツアーファイナルズ)



花束を贈られ笑顔を見せる(10/23 本庁舎1階ロビー)

に出場できるよう、目の前にある一つ一つの試合・大会で結果を出すことです。

青森市の好きなところは、空気が良く、食べ物がおいしいところです。

青森市民の皆さんに少しでもバドミントンの魅力を伝えられるような、そして元気を与えられるようなプレーができるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

※BWF=世界バドミントン連盟



市民栄誉賞
バドミントン女子ダブルス 銅メダル
志田 千陽 選手
〈青森山田中学・高等学校卒業〉



市スポーツ栄誉賞
アーチェリー男子団体 8位入賞
古川 高晴 さん
〈青森市出身〉

ロンドン個人「銀」、東京個人・団体「銅」。オリンピック6大会連続出場し引退。長年の活躍に拍手! 手を抜かず成長続けた25年間

中学時代、運動公園で見掛けた弓道を高校でやろうと思いましたが、進学した青森東に弓道部はなく、同じ弓だからとアーチェリー部へ入りました。的の真ん中に矢が刺さったときの爽快感が魅力で、のめり込みました。

オリンピックを目指そうと思ったのは、最初に出たアテネの後。結果を出せず、「次はこの大舞台でもっと結果を出したい」と意識しました。くじけそうになったときに大事なのは、自分自身が決めた目標をかなえたいという強い気持ちです。両親の言葉も支えになりました。母からは「勝ってかぶとの緒を締めよ」とずっと言われてきました。勝ってまた気を引き締めて、をずっとやって来ました。

10月で選手を引退しました。手を抜かず成長し続けられた25年間でした。今後は、僕が見ることができなかった金メダルを取る選手をいつか育てることを夢見て、指導していきます。アーチェリーファンが増え、子どもたちがやってみたいと思ったり、親御さんが子どもにやらせたいと思ってくれたらうれしいですね。

故郷の好きなものを二つ挙げます。一つは祖母や母が作る「けの汁」が恋しくなりました。もう一つは土産店。故郷を離れると、身近だったものが全く違う景色に見えます。



賞を授与した西市長と記念撮影(11/1 本庁舎2階庁議室)

バドミントン男子シングルス 奈良岡 功大 選手(青森市出身)・バドミントン女子ダブルス 永原 和可那 選手(青森山田高等学校卒業)
惜しくも入賞は逃しましたが、見事なプレイで感動を与えてくれました!! 感動をありがとう、青森市出身・ゆかりのオリンピック!